

ホタテガイ養殖管理情報

新貝の玉付け、籠替え、掃除は中層水温が20℃を下回ってから行いましょう

1 海況

9月1～9日の各ブイの中層（10～15m層）の水温は23～25℃で（図1）、平年より高い状態が続いています。

2 新貝の養殖管理について

ホタテガイ新貝および成貝は、20℃で成長が止まり、それ以降は中腸腺（ウロ）や貝柱のエネルギーを使って生命を維持しますが、水温が高くなるほどエネルギーの消耗が激しくなり、最後はエネルギー不足でへい死します（図2-3）。

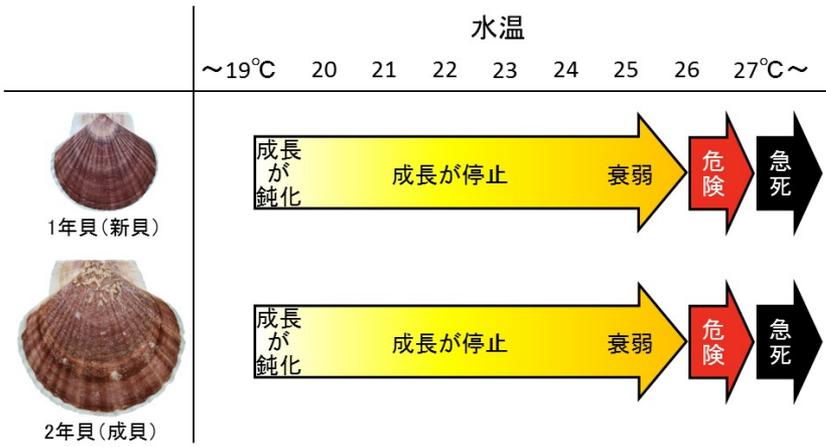


図2 新貝および成貝の成長と生残率に与える水温の影響

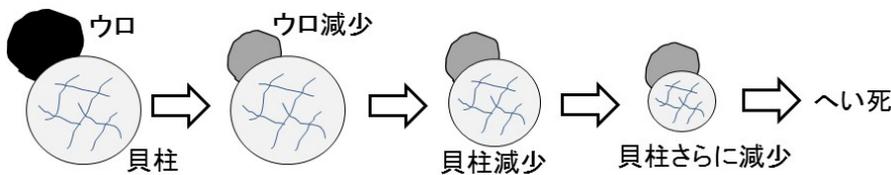


図3 高水温が続いた場合のホタテガイのへい死メカニズム

適水温前に作業を行うと、へい死率や異常貝率が高まる（図4）ので、新貝の玉付け・籠替え・掃除は、中層の水温が20℃を下回り、貝の体力回復の目安となる「フチがまわっている」ことを確かめてから開始してください。

ただし、籠や耳吊りが海底に着底している場合は水温が22℃前後でも玉付けを行っても構いません。

3 稚貝分散について

稚貝は、中層水温が体力の回復する23℃を下回ってから分散作業を開始してください。

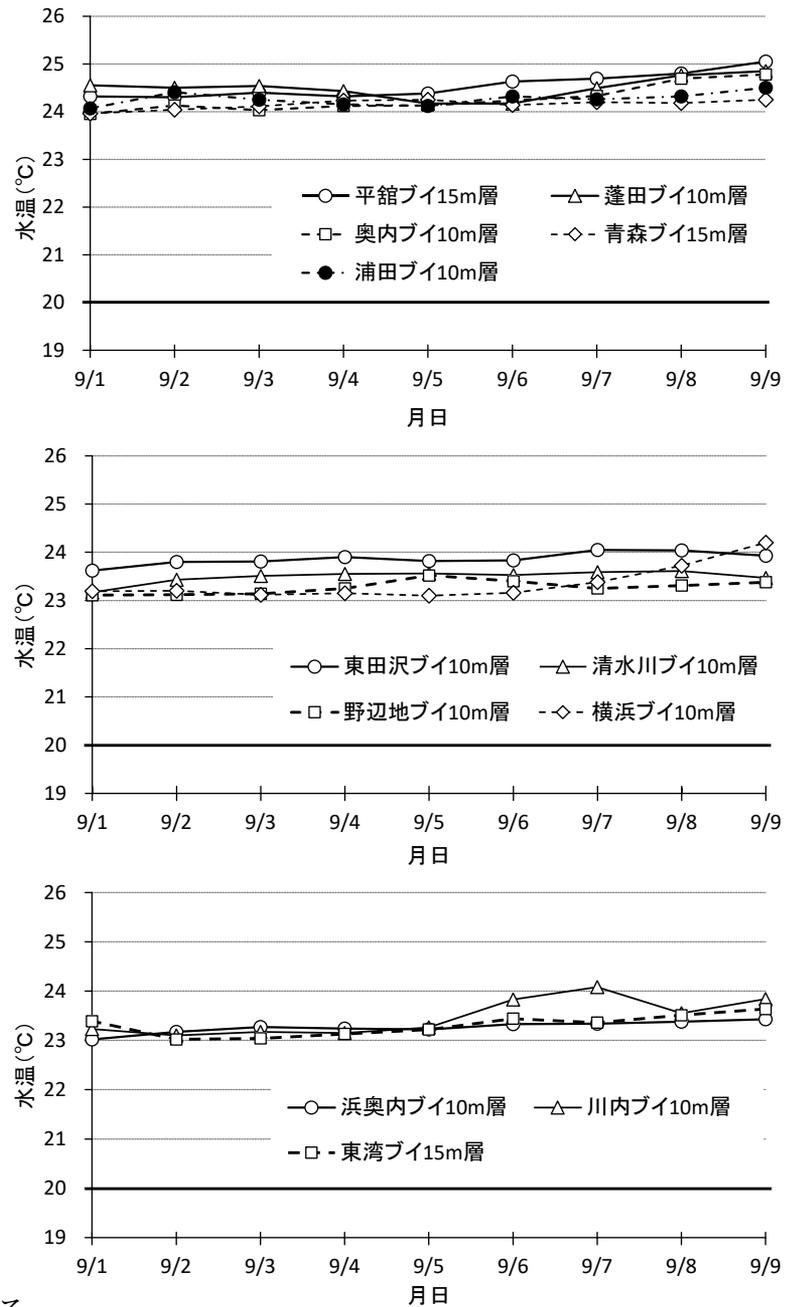


図1 海況自動観測ブイ（15m層）と水温観測ブイ（10m層）での日平均水温の変化

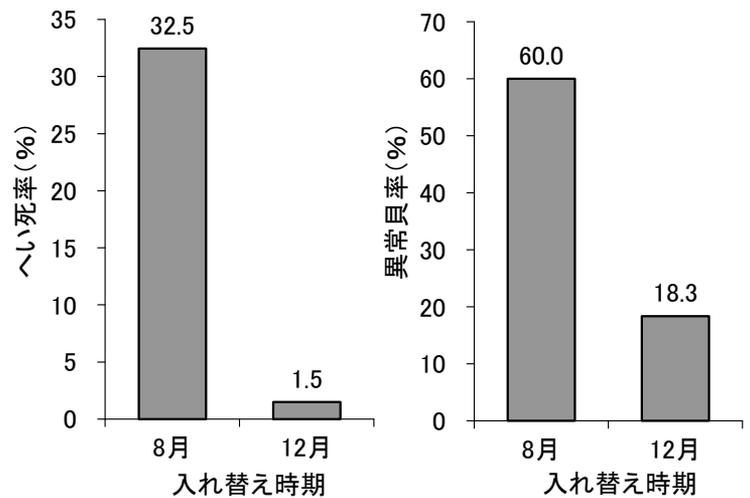


図4 新貝の入れ替え時期別試験（H31年4月測定）

